

滋賀県がん診療連携協議会
第4回地域連携部会議事録

日 時 平成22年7月9日(金)午後2時～午後4時
場 所 大津赤十字病院 外来棟 6階会議室
出席者 別紙のとおり
開会挨拶 滋賀県がん診療連携協議会副会長
大津赤十字病院 廣瀬 邦彦院長

部会開催に先立ち部会員各位から自己紹介が行われた。

議 事

1. 経過報告と今後の取り組みについて

(1) 域連携部会の取り組み状況と今後の予定

患者会から参加いただき、6回の作業部会でパスを作成し3回の地域連携部会で承認を得て5大がん地域連携パスが出来4月1日運用開始となった。昨年の目標は、パスの作成と各医療圏におけるネットワークの構築であった。今年の目標は、パスを普及させ検証し問題点はQAにまとめ、がんの地域医療ネットワークを密なものにしていく事とした。

(2) 各医療圏からの取り組み状況報告

別紙のとおり各医療圏から順次報告があった。また、保健所、医師会、県、病院とのかかわりについて意見が交わされた。地域とのネットワークとして医師会、保健所は重要な役割を果たす。在宅に行くパスについては保健所が関り、病病連携においては病院が関る方向で、ネットワークを作るのは拠点病院で、そこを中心に進めていく。社会復帰する為パスは重要で、医者だけの問題ではなく社会全体で取り組まなくてはならないなどの意見が出た。

次に、滋賀県におけるがん地域連携ネットワーク名称について確認した。
大津・湖西医療圏・・・・大津・湖西がん診療連携協議会
甲賀医療圏・・・・・・甲賀医療圏がん診療連携ネットワーク協議会
湖南医療圏、東近江医療圏、湖東医療圏、湖北医療圏については正式に決定していない。

(3) 5大がん地域連携パス運用について

以下の問題点については、作業部会において検討していくこととした。

1. 質問については、QAシートを利用
2. バリエーションシートの使用方法の統一
3. 診療情報提供書をどの形式にしていくか検討
4. 院内での運用についてはパスの説明会を開く

5. 事務局への報告書は医療圏の病院からでよい
6. 報告書は急がないので郵送でお願いしたい

2. 「滋賀県5大がん地域連携クリニカルパス」の改版の承認について

(1) 「私のカルテ」表紙の変更について

患者会の方により表紙のデザインが仕上がってきた。がん種ごとにリボンの色を変える事についてリボンの色を確認しておくことで「私のカルテ」の表紙については承認を得た。

(2) 誤字脱字修正内容について

以下の内容については、作業部会において協議していくこととした。

1. 誤字脱字の修正分と表紙を変更したものをホームページにアップロードする。
2. 医療者用に報告書とQAシートを追加し、ホームページにアップロードする。
3. 連携先向けの運用フローを作成する。
4. 連携先からの質問についてはQAシートを利用させていただくようにする。
5. 連携パスについてのガイドを作成する。

3. 今後の予定について

第5回地域連携部会 平成22年9月10日(金)午後2時～

滋賀県地域連携実務者会議 平成22年9月17日(金)午後3時～

第3回パス研修会 平成22年10月2日(土)午後3時～

4. その他

(1) 滋賀県地域がん診療連携支援病院の整備について
滋賀県健康推進課より資料に沿って説明があった。

(2) がん地域連携パス診療報酬関連資料
診療報酬改定に伴う参考資料として提供

(3) 第7回作業部会のご案内

平成22年8月20日(金)開催案内についての用紙を持ち帰っていた
だく。

以上